

田尻だより

平成 18 年

7月 号

Vol. 40

次回の田尻便りは
8月発行予定!

5〜6月と天候不順が続いてまいりましたが、ここにきて急に夏めいてきました。一体いつからいつまでが梅雨なのかしらと首をかしげる今日この頃です。生育不良に悩まされてきた稲もようやく本来の葉の色を取り戻し、遅ればせながらの今年のスタートです。



この田んぼにはカサガモが来ているので、つきりかもの巣だと思っていたら...

「ドジョウ②...前号の続き」
ここ数年で、ずいぶんドジョウが増えました。基盤整備（田んぼの区画整理）で土壌が掘り返され、一時期はずいぶん減ったそうですが、今年の小野寺家の田んぼにはドジョウがうじゃうじゃいます。驚いたことに、^{サギ}鷺や^{トキ}朱鷺、コウノトリといった代表的な日本の水鳥たちは、食事の7〜9割がドジョウだそうです。カエルなども食

べますが、3日食べ続けるともうカエルは食べなくなり、ドジョウが出てくるまで何も食べないそうです。田んぼにドジョウがいなくなつたために、日本の^{トキ}朱鷺やコウノトリは絶滅してしまいました。現在、コウノトリの放鳥など様々な取り組みが行われていますが、1日に何十キロも食べるドジョウをどう養うかが、目下の問題だそうです。

（印）からがえしたヒナは、真黒い羽毛に真赤なクチバシ。これはバンの巣でした。

何故か泳ぎました...
私の姿に驚いて逃げようとするも、上手く泳げず苦悶。救出すると、急いで茂みに隠れてしまいました。



米 曆 ~こめごよみ~

- 6月1日〜 あぜ草刈り開始
- 6月12日 ガズ(雑草)取りをしました。
- 6月13日
- 6月18日 和歌山で田植え体験をしました。
- 6月24日 生き物調査をしました。

日照不足と低温で、葉の色が薄まり草丈も低く、なかなか稲が育ちません。ここ最近の好天で、ようやく緑色になってきました。

嫁日記

6月半ば、実家の和歌山で田植え体験をしました。前日まではどしゃ降りでしたが当日は雨も上がり、絶好の田植え日和となりました。

田尻での田植えはとにかく重労働で忙しいのですが、実家は小さな田んぼに皆で手植えをするのでのんびり

していても好きです。もちろん、手植えなので体は大変なのですが、心地よい充実感があり、一緒に植える方々との一体感は何ともいえないものがあります。

夜、宿泊をされた方と一緒にホテルを見ました。ホテルをつかまえ嬉しそうな様子を見ると、やって良かったなああと心から思いました。